

3

中心市街地の活性化

ちゅうしんしがいちじゅんかんばすじぎょう

中心市街地循環バス事業

・・・約3,300万円

中心市街地である商店街やミュージックタウン、コザ運動公園、沖縄こどもの国などいろんな施設を気軽に巡ることができ、また中心市街地に暮らす人々の生活が便利になることで、多くの人々がにぎわい魅力ある街にすることを目的に、沖縄市の主な施設を結ぶ循環バスを運行しています。

平成24年度までは実験的に運行しましたが、多くの人々に利用されてきたため、平成25年4月1日からは、本格的な事業として本格運行になりました。



ちゅうしんしがいちかっせいかしえんじぎょう

中心市街地活性化支援事業

・・・約1,700万円

中心市街地活性化とは、市の「顔」であるまちの中心に、にぎわいを取り戻そうとすることです。

現在の沖縄市の中心市街地は、周辺の市町村の開発などにより、商店街や大通りなどで空き店舗が増え、いろいろな施設がまちの外へ出ていき、住む人や来る人が減り、まちの元気がなくなっています。

そうした中心市街地を元気にするため、専門の支援員による街の活性化のお手伝いを行っています。また、商店街に来るお客さんを増やすため、無料駐車場の実験をおこなっています。

そのようなこまかい事業を実施することにより、街全体としての活性化を進めています。

ビジネススクール



1じかんむりょうたいしょうちゅうしゃじょう
1時間無料対象駐車場

えいさーのまちすいしんじぎょう

エイサーのまち推進事業

・・・約2,000万円

沖縄市で毎年行われる沖縄全島エイサーまつりは、歴史ある最も大きなエイサーイベントとして県内外に知られています。

この伝統あるエイサーをさらに町おこしに活用しようと、平成19年6月13日にエイサーのまち宣言を行いました。

「エイサーのまち」沖縄市を多くの人々に発信するため、様々なグッズ等の作成や配布、PR活動等を行っています。

- ①エイサーキャラクターがデザインされたオリジナルステッカーの作成・配布を行う。
- ②エイサーのまち沖縄市をイメージできるバナー、のぼりの設置。
- ③エイサー絵本を製作し、市内保育園、小学校、県内公立図書館や姉妹都市等へ配布する。
- ④市内関連施設内のトイレ表記をエイ坊、サーちゃんへ変更していく。
- ⑤沖縄市のエイサーキャラクターであるエイ坊、サーちゃんの着ぐるみを活かし、市内の様々なイベントに参加する。
- ⑥エイサー体験の受け入れや、市内青年会の県外派遣等のコーディネートを行う。
- ⑦エイサーグッズの開発や、グッズ販売店の拡大を図る。



エイサーまつり



みゅーじっくたうんすいしんじぎょう

ミュージックタウン推進事業

・・・約1,700万円

沖縄市は伝統芸能やアメリカ文化などの影響を受け、いろいろな音楽・芸能文化が発展してきました。そこで、これらの音楽・芸能文化を活用して、まちを元気にするために「音楽によるまちづくり」に取り組んでいます。

音楽のまちの拠点施設であるコザミュージックタウン前を会場にして行う音楽イベント「音のページェント」の開催や、沖縄市を中心に3日間にわたり開催される沖縄国際アジア音楽祭の開催を支援しています。

年間を通じてコザミュージックタウン音市場での自主事業（音楽イベント、人材育成講座等）を展開しており、音楽を通じたまちの賑わいづくりを目指した事業を行っています。

ミュージックタウン



やきゅうじょうせいびじぎょう

野球場整備事業

…約9億7,900万円

沖縄市野球場は、県内で数少ない本格的な野球場として昭和48年に建設され、那覇市の旧・奥武山球場と並んで数々の高校野球の舞台等となってきました。しかし、建物がとても古くなっているため、野球大会などを開催することが難しくなっています。

そこで、現在の野球場を新しく建て替える事業が始まっています。新しい野球場はグラウンドが大きくなり、ナイター照明を設置し、スコアボードやスタンドも新しくなる予定です。

沖縄本島の真ん中であって、北部や南部からも足を運びやすい沖縄市にある野球場が新しく生まれ変わり、沖縄市だけでなく沖縄県の野球競技の拠点となるよう期待されます。



やまざとだいいちちくしがいちさいかいはつそくしんじぎょう

山里第一地区市街地再開発促進事業

・・・約8,500万円

当地区は、国道330号と県道24号線が交差する山里三叉路の一角に位置しています。地区内は、老朽化した住宅が密集し、道幅も狭く、生活環境及び、火災等の防災面にも課題があります。このため、高層建築物に建て替えを行い、住宅や商業施設、広場等を整備し、安全で快適なまちに寄与する事業です。



こくどう330ごうえんせんとちりようとうすいしんじぎょう
国道330号沿線土地利用等推進事業
・・・約6,680万円

沖縄市の胡屋十字路からコザ十字路までの大通りは、国道330号といい、国が管理する道路です。通常、車道や歩道等の幅は利用者の数によって決定されていますが、この地域は交通量が増加しており、現在の車道幅ではスムーズに車が通ることが出来ず、渋滞・混雑が深刻化しています。

また、この地域は沖縄市の発展に欠かせない中心市街地の商業地域でもあります。

この事業では、渋滞・混雑の解消や歩行者が安心して利用できることを目的として、車道や歩道の幅を大きくするよう国にお願いをすると同時に、沖縄市の発展のために道路沿いのまちづくりを進めていきます。

現在、コザ十字路では道路幅を大きくする改良工事が行われており、一部の建物が撤去され道路として利用されていますが、建物が撤去された道路以外の残った土地を、この事業でイベント広場や緑地空間を作ることにより、コザ十字路地区の魅力向上や賑わいを生み出します。

